

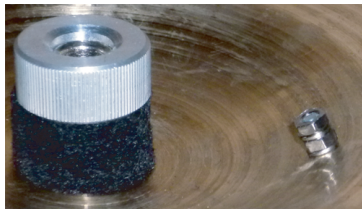
# CubeMic・H-X 取扱説明書

2012.5/4 バージョン

## 【1】ハイハット用設置法



H-Xは、上写真の様に、ハイハットトップシンバルのカップの外輪近辺にM3の穴を空け、空けた穴にCubeMicの穴開けシンバル専用共振磁性体の先端にあるM3のネジ棒を打撃面側から挿し入れます。そして、右下写真の様にハイハット内側から、バネワッシャ、六角ナット、バネワッシャ、六角ナットの順番で締め込み、ハイハットトップシンバルとH-Xを固定させるという取り付け方法になります。カップの外輪がちょうどCubeMicの中心付近になるように、カップ外輪から内側に、約1cm入った辺りに、M3のネジ穴を空ける事になります。



- 1 -

本体の固定が終わったら、右写真の様に、H-X本体の六角ナット部分、ハイハットクランプを、付属のゴム輪を用いて緩やかに拘束します。これに由り、激しいハイハットワークに由る本体のプレを抑えます。



- 2 -

又、H-X本体のXLR(キヤノン)端子に接続したケーブルは、左写真の様に、ハイハットスタンドの下側のシャフトにベルト等で拘束して、大きくCの字型にケーブルを弛ませ、ハイハットシンバルに触れないようにセッティングする事に由り、ハイハットの音色がライブに保たれると同時に、ケーブルの重みによるH-X本体への影響を最小限に抑える事が出来ます。もしセットのシンバル数が多く、近くにシンバルブームスタンドとかがあれば、そちらにバンド等で拘束するのも良いですが、ドラムセットが、8点セット以内の場合は、左写真の方法がベストとされます。

## 【2】配線と運搬に関して

H-X本体端子にXLRメスプラグを挿し入れたケーブルのもう片方を、Highleads用MOTUオーディオインターフェイスに挿し込む場合は、ハイハットは、必ずアナログイン6に入れて下さい。

ハイリーズで調整済みのEQが設定されている為、ハイハットにとって、最も好適な音が、Highleads用MOTUオーディオインターフェイスのメインアウトからセットの一部としてステレオ出力されると同時に、Highleads用MOTUオーディオインターフェイスのアナログアウト6から、ハイハットだけのEQ処理音をモノアウト出来ます。

又、H-Xを単品購入された方は、H-X本体端子にXLRメスプラグを挿し入れたケーブルのもう片方を、アンプ、エフェクタ、ミキサー、オーディオインターフェイス等に繋いで下さい。

H-Xは、パッシブの構造であるという事を認識して、いろいろな音調整部との結線を試みて下さい。主に、エレキギター、エレキベースを繋げる場所ならば、繋いで正解です。ハイリーズのCubeMicは、エレキギター、エレキベースに使用出来るエフェクターは、全て使用可能です。キーボード用のエフェクターも使用可能な場合が多いので、是非お試しください。

運搬時は、ハイハットトップシンバルからネジ止めを外してH-X専用のプラスチックケースに収納して、保護した形で運搬して下さい。CubeMicは繊細な作りの為、保護しないで運搬する事による破損に関して、一切ユーザー様の自己責任とさせていただきます。共振磁性体は取り付け取り外しが容易な為、消耗品扱いとし、破損した場合は、部品として新たに購入して下さい。

XLR端子は、1番がシールド。2番がホット。3番がコールドとなっております。XLR端子は、いろんな形式がありますので、必ず入力先になる機器の取り扱い説明書を読んで、間違いのない結線をして下さい。

**コンデンサーではないので、絶対に48VはOffで使用して下さい。**

- 3 -

## 【3】音の処理に関して

音の処理は、個人の好みが別れる部分ですが、特徴としては、ピックアップで収音された音は、中音部が張っており、高音部が小さくなってます。ハイハットの場合、中低音部をかなり大胆に削っても良いでしょう。設計的にドラム用ピックアップより大きい音量で収音出来るので、中低音部を大胆に削って丁度良い位になります。更に高音の張りが欲しい場合、5kHz~9kHzや、12~17kHz辺りを上げる等してして下さい。当然、取り付けるシンバルの音にも由りますし、シンバル類の音は好みも別れると思いますので、自分でいろいろと弄って下さい。

## 【4】注意事項

1. 曲げた共振磁性体は消耗品扱いになります。もし破損したり、曲げて収音に問題が出た場合、共振磁性体だけの単品販売はさせていただきます。
2. H-Xは、丈夫で無い為、運搬時には、必ずハイハットトップシンバルから取り外し、H-X専用のプラスチックケースに収納して保護して下さい。目的地でネジ止めし直す際には、力任せに締め込む事をせず、ハイハットトップシンバルの振動が共振し、振動によりナットが外れない程度の緩めなあんばいで締めて下さい。
3. 電源アダプター、電源ユニット、蛍光灯等が近くにあると、ピックアップがノイズを拾います。ノイズの原因となるものからは離しましょう。エレキギターの技術とかを模倣して、良い音作りに励んで下さい。

製造元 : 株式会社ハイリーズ  
所在 : 東京都八王子市裏高尾町 190 番地 5  
電話 : 050-3391-9719  
ホームページ : <http://highleads.jp/>  
お問い合わせ先 : [master@highleads.jp](mailto:master@highleads.jp)